



こまくさ

平成31年
2月28日(木)
No.37

《教育目標》 ~夢に向かって やさしく! かしく! たくましく!~

世界トップレベルの技に歓喜!

~ワールドカップ秋田たざわ湖大会~

ご存じのように2月24日(日)「2019 FISフリースタイルワールドカップ秋田たざわ湖大会」がたざわ湖スキー場で開催され、5・6年生の児童が応援に行きました。とても天気がよく、スタートからゴールまで各選手の滑りをはっきりと見る事ができました。子どもたちは、配布されたスティックバルーンを手に、世界トップレベルの選手の技に歓声を上げながら元気に応援してきました。私は世界レベルの競技を見るのも初めてでしたし、自分だったら腰が引けそうになるあの黒森山グレンデのコブ斜面をものすごいスピードで滑り、しかも途中のジャンプ台で4回転もしながら果敢に滑ってくる選手もいて感動しました。このような素晴らしい競技を眼前で見られることは、本当にありがたいことです。ずっとここたざわ湖スキー場で開催してほしいと願っています。



スティックバルーンを手に
応援する子どもたち

児童会テーマの振り返り、委員会の引き継ぎを行いました!

2月27日(水)全校集会を行い、その中で児童会テーマの振り返り、委員会の引き継ぎを行いました。最初に運営委員が今年の児童会テーマにある、「すなおな心」「チャレンジする勇氣」「力を合わせて」に関する全校アンケートの結果を発表しました。それぞれ数パーセントではありましたが、前回のアンケートに比べて向上しており、運営委員の呼びかけ等の成果が表れました。次に6年生の各委員会の代表者が5年生の代表者にメッセージを伝えながら委員会のファイルを手渡しました。これまで6年生のおかげで、様々な集会の実施など、楽しく充実した学校生活を送ることができました。いよいよ5年生がリーダーとなり活躍していく番です。その最初の活動が3月1日(金)に行われる「6年生を送る会」となります。どんな集会になるかとても楽しみです。先日メール配信いたしましたように、保護者の皆さんも都合の付く方は是非おいでください。



6年生から5年生へバトンタッチ!

田沢湖図書館を有効にご活用ください!

先日のPTAで教頭先生から話があった内容について、確認の意味でお知らせいたします。学校では、原則として学校帰りに寄り道をしないこと、また迎えの車を待つ場合は学校の図書館を利用するよう指導しています。2月13日(水)に田沢湖図書館活性化協議会が行われ、その中で担当の方から、学校帰りの待ち合わせ場所として図書館を大いに利用してほしいというお話をいただきました。学校としてもプール横ロータリーの現状を考えると図書館を利用させていただけるのは非常にありがたいことと考えています。図書館の開館時間は、平日18時までであることを踏まえた上で、お子さんと待ち合わせの時間等を決めるなどしてご利用くださるようお願いいたします。

6年部から寄付をいただきました！

先日、PTAが終わった後、6年部の役員の方々が職員室にお見えになり、10月末に開催された仙北市産業祭の際に6年部の有志の方々が行った、「あんべいいなチャーハン、ベリーなクッキー販売」の売り上げ金15,000円を寄付してくださいました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。一旦キッズマートの会計に繰り入れさせていただき、今後何らかの形で子どもたちに還元していきたいと思っております。

課外活動の活躍

◆平成30年度 第8回仙北市読書感想文コンクール

佳作 6年桃組 T.さん

「忘れてはならないもの」

生保内小学校6年 T.

私は、「おはじきの木」という本を読みました。この本を読んだわけは、私のひいおばあちゃんがまだ子どもだったころの戦争の話について知りたかったし、今の平和な時代と戦争があった時代が、どれだけちがうのか知りたかったからです。

この本は、げんさんという人が主人公の話です。げんさんは、戦争で家族をなくしてしまっていました。どこで、家族がなくなったのかも分からないのです。そんな時、新聞に母親と弟をまわって木の下で死んでしまった女の子の記事がありました。げんさんは、すぐその木のところへ行って耳をすまします。そこで、少し不思議なことがおこるといってお話です。

私がこの本を読んで一番心に残ったところは、本の中から空しゅうで死んだ娘の「おとうちゃん。おはじき、じょうずになったよ。ほらね。ほらね…」という声が聞こえてくることです。私はこの部分を読んでとても共感できました。私も大好きだったひいおじいちゃんがなくなった時、こたえてくれるわけないと思いながらも、あまりにも悲しすぎてしゃべりかけたことや、仏だんにかざってあるおじいちゃんの写真が「にこっ」と笑っているように見えたことが何度もありました。もし私がげんさんと同じ立場で家族をなくしていたら、しゃべりかけることもできない、笑ってあげることもできない、ただ悲しむ人生になると思います。私もげんさんのように強い人になりたいです。

私は、この本から戦争の時代を生き抜いた人はすごく強いということを知りました。戦争で家族をなくしてつらくても、一日一日を大切に生きようとしています。戦争の時代を生き抜いた人にとっても感心します。私もそんな人になりたいです。そしてもう一つ大切な事を学ぶことができました。それは、たとえ家族が死んでしまっても家族のきずなは切れないということです。だからげんさんは、心が苦しくても笑っていられたのだと思います。「忘れてはならないもの。」それは、家族のきずなであるということ、この本をおしてあらためて学ぶことができました。戦争はもう昔の話です。けれど決して忘れてはならないものだと私は思います。だから、将来自分の子どもにも戦争のつらさや家族をうしなうことのつらさを教えていきたいです。

日本は今、戦争はしていませんが、外国ではまだ戦争をしているところがあります。小さな子どもたちがぎせいになって悲しんでいるニュースを見るたびに、戦争はぜったいなくさなければいけないと思います。私にできることは、やはり戦争のこわさや悲しさを子どもたちに伝えていくことだと思いました。

実際に死と向き合った経験から、家族の大切さや、二度と戦争が起きてほしくないという思いが伝わってくる感想文だと感じました。平和な世の中が続きますように…

◆TakedaSports・NEXAS 2019ジュネスカップスキー大会

2月16日(土) ジュネス栗駒スキー場

小学校6年男子 大回転 第6位 F.さん

◆2019大台大回転(タミヤカップ)スキー大会

2月17日(日) 大台スキー場

大回転 小学校6年女子の部 第5位 T.さん